



東北横断自動車道（遠野～宮守）開通後の交通状況 及びストック効果について ～沿岸部の復興に大きく寄与～

【交通状況】

- 並行する国道283号と合わせた断面交通量は開通後**増加**。
- 開通6ヶ月後の遠野IC～宮守IC間は約6,700台/日が利用し、国道283号と合わせた断面交通量の約44%が当該区間を利用。

【ストック効果】

- 国道283号を利用していた**高速バスが、東北横断自動車道を利用するルートに変更となり約10分短縮**しました。全線開通によるさらなる時間短縮が期待されています。
- コンビニチェーンの食品輸送範囲が広がった**ことで、山田町までの運搬が可能となり、沿岸部での店舗が増加しています。
- 釜石港の取り扱いコンテナが、**平成24年度以降約2.5倍に増加**。釜石港利用企業数は、**約2.2倍に増加**。

<発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会>（問い合わせ先）

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

TEL 019-624-3196

副 所 長 きごし よういち 木 越 養 一（内線205）

調査第二課長 いとう ひでかず 伊 藤 英 和（内線451）

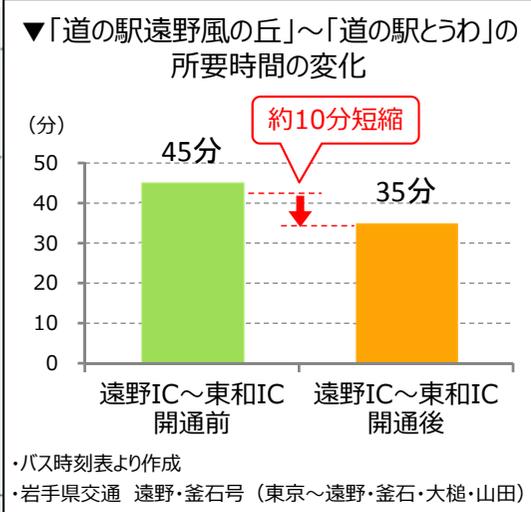
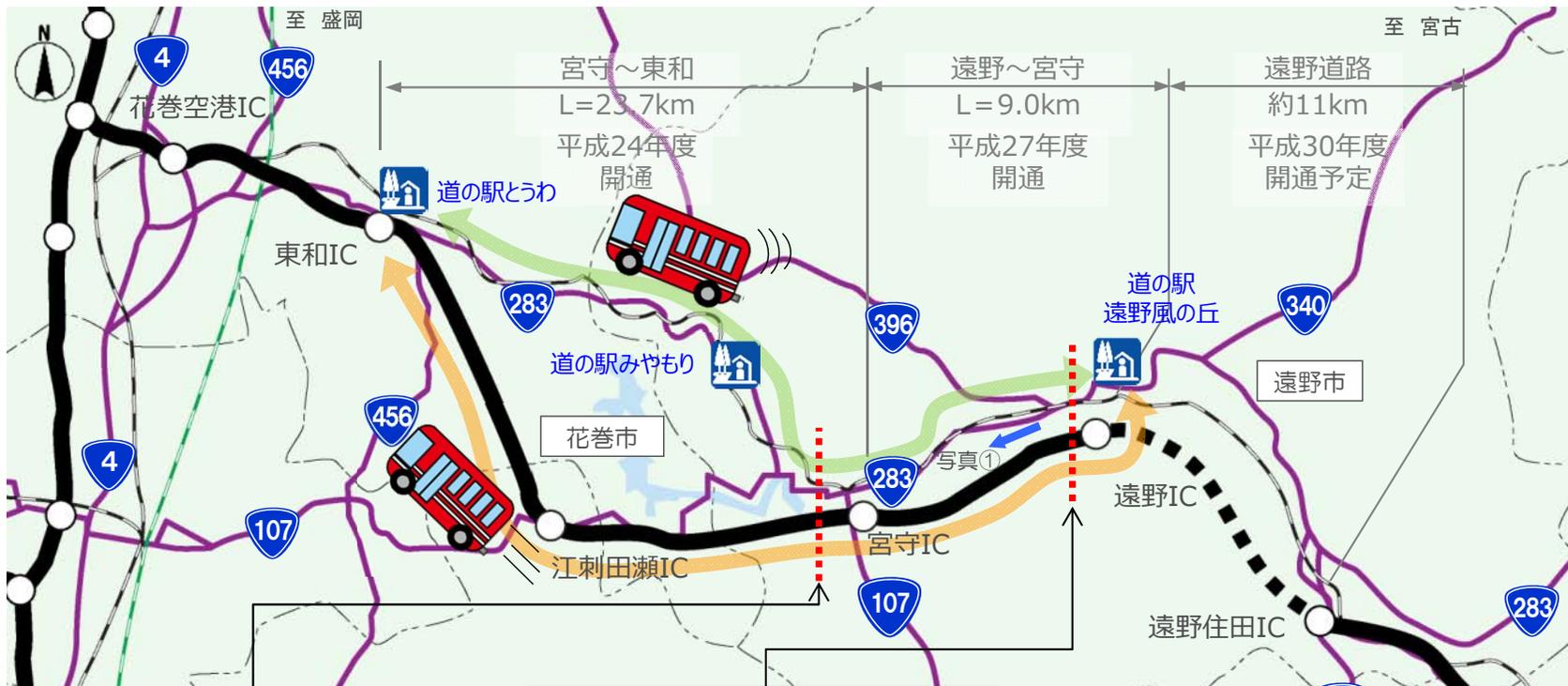
【管内情報につきましては、当事務所のホームページにてご覧いただけます】

事務所HP <http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/>

モバイル版 <http://keitai.thr.mlit.go.jp/iwate/>

東北横断自動車道の利用により、公共交通の速達性が向上しています。

- 国道283号を利用していた高速バスが、東北横断自動車道を利用するルートに変更となり、「道の駅 遠野風の丘」と「道の駅 とうわ」のバス停間で約10分時間短縮しました。
- 遠野IC～宮守IC間を利用する交通量は、約6,700台/日(大型車約1,100台/日)となっています。
- 既供用区間の宮守IC～江刺田瀬ICの交通量は、遠野IC～宮守ICの延伸により、約800台/日伸びています。



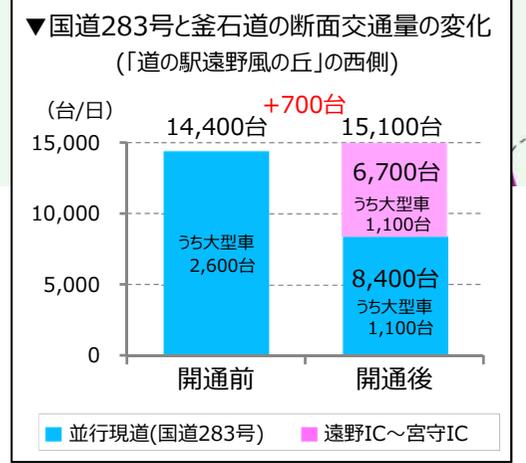
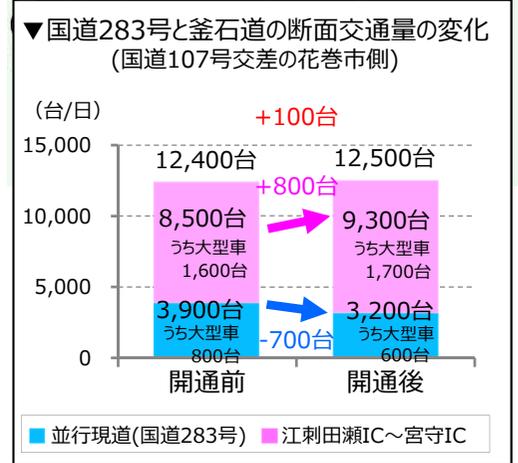
■バス事業者のコメント

・山田町・釜石市・遠野市・花巻市～東京を結ぶ高速バスを運行しています。

・運転手の人手不足の中、**時間短縮は労働環境の改善や、運転負担軽減**等につながります。

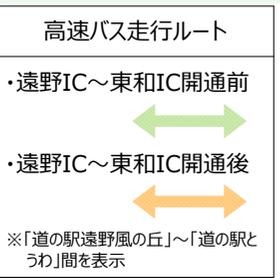
・全線開通すれば、**復興道路等を利用するルート変更も考えています。所要時間の短縮により利用者の時間に余裕ができるため利便性の向上に期待しています。**

資料：平成28年4月 ヒアリング調査



交通量調査

- ・遠野IC～宮守IC開通前：H27.3.17(火)
- ・遠野IC～宮守IC開通後：H28.3.8(火)



東北横断自動車道釜石～花巻間整備により沿岸部での企業活動が活性化しています。

- 企業活動 1：コンビニチェーンの食品輸送範囲が広がったことで、山田町までの運搬が可能になり、沿岸部での店舗が増加しています。
- 企業活動 2：釜石港の整備による利便性向上や東北横断自動車道の全線供用の期待も高まり、釜石港利用増加や新たな内陸企業の利用の期待が寄せられています。

内陸部

■コンビニチェーン食品輸送事業者のコメント

お弁当やパンなどをコンビニ店舗へ輸送しています。

遠野～宮守間の開通により北上からの食品輸送範囲が広がったことで、山田町までの運搬が可能になりました。沿岸部での店舗が増えています。

復興道路・復興支援道路が全線開通すればさらに広範囲での食品輸送可能となるため、全線開通に期待しています。



資料：平成28年4月 ヒアリング調査

■内陸で釜石港を利用する製紙工場のコメント

写真用原紙を製造し、海外へ輸出しています。

仙台港と釜石港・大船渡港を利用していますが、仙台港の割合が多いです。

釜石港の整備、さらに横断道が全線開通することで、運搬距離が短く、高速料金のかからない釜石港の利用割合増やしたいと考えている。



資料：平成28年4月 ヒアリング調査

■東北横断道は地域経済を支えています



沿岸部

■コンテナを取扱う物流事業者のコメント

東北横断自動車道を利用して釜石港からコンテナを輸送しています。

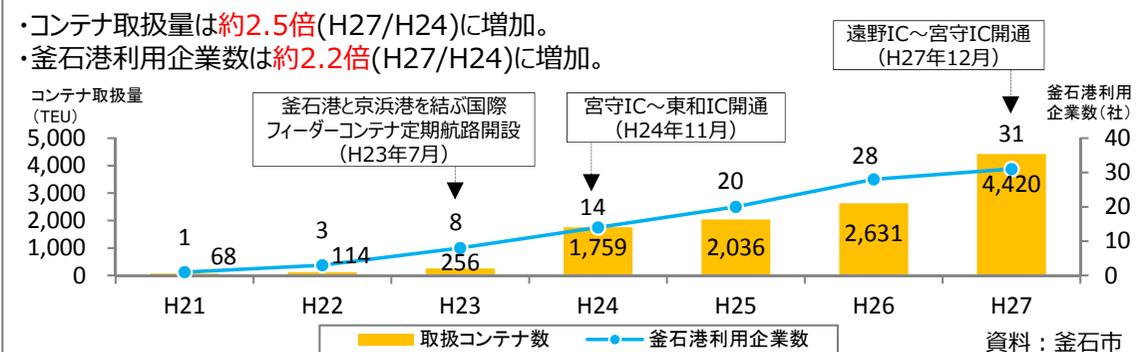
遠野ICまで延伸して、走行が安定し、運転負担が少なくなりました。

釜石港の整備により、周辺での企業立地も進み、釜石港利用への内陸企業からの問い合わせも増えてきています。



資料：平成28年4月 ヒアリング調査

■釜石港のコンテナ取扱量と利用企業数の推移



■釜石港を利用する定期コンテナ船

